

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成25年8月8日 (2013.8.8)

【公表番号】特表2012-530584(P2012-530584A)  
 【公表日】平成24年12月6日 (2012.12.6)  
 【年通号数】公開・登録公報2012-051  
 【出願番号】特願2012-516862(P2012-516862)  
 【国際特許分類】

A 6 1 F 2/18 (2006.01)

A 6 1 F 11/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/18

A 6 1 F 11/00 3 1 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成25年6月24日 (2013.6.24)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

埋め込み型装置をアブミ骨底に取り付けるための取付手段であって、前記取付手段は、接続部で接続された第 1 及び第 2 の係合部を備え、前記係合部の各々は、アブミ骨のアーチの各々に係合するように構成された係合面を備え、

前記係合部の係合面は、前記アブミ骨のアーチの各々と係合するときに、アブミ骨底上に位置するアブミ骨底係合部を備え、

前記アブミ骨底係合部は開口部と突起のうちの 1 つを備え、これらは前記結合部との枢軸結合を形成するために、前記アブミ骨底係合部の前記開口部と前記突起に応じて形成された結合部の開口部又は突起を受けるために形成される取付手段。

【請求項 2】

前記第 1 の係合部の前記係合面は、前記第 2 の係合部の前記係合面と反対方向に面している請求項 1 に記載の取付手段。

【請求項 3】

前記係合部は、前記係合面が互いに対向するように構成されている請求項 1 又は請求項 2 に記載の取付手段。

【請求項 4】

前記係合部は、前記係合面が互いに外側を向くように構成されている請求項 1 又は請求項 2 に記載の取付手段。

【請求項 5】

前記係合面は、アブミ骨底に接触するアブミ骨のアーチの間の距離と略等しい距離だけ離間されている請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項 6】

前記係合部は、それぞれ湾曲部を備える請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項 7】

前記係合面が凹面である請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項 8】

前記取付手段は、アブミ骨のアーチを貫通するか、アブミ骨のアーチの周りを通過する第１の構成と、アブミ骨のアーチに係合する第２の構成との間で変形可能なように、少なくとも部分的に弾力性を有する請求項１乃至請求項７のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項９】

前記取付手段は、超弾性特性を有する請求項１乃至請求項８のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項１０】

前記接続部は、前記接続部の中央部の両側に１つずつ配置される２つの弾性部を備える請求項１乃至請求項９のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項１１】

前記第１及び第２の係合部は、第１の平面に向かって延び、前記接続部は、前記第１の面に垂直な第２の平面にある前記係合部から延びている請求項１乃至請求項１０のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項１２】

更に、アブミ骨底上に位置するアブミ骨底係合部を備える請求項１乃至請求項１１のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項１３】

前記アブミ骨底係合部は、前記取付手段に一体に形成されている請求項１２に記載の取付手段。

【請求項１４】

前記アブミ骨底係合部は開口部と突起のうちの１つを備え、これらは、前記アブミ骨底係合部の前記開口部と前記突起に応じて形成された結合部の開口部又は突起を受けるために形成され、前記結合部と共に枢軸結合を形成する請求項１３に記載の取付手段。

【請求項１５】

前記取付手段は、前記開口部又は前記突起が、前記第１及び第２の係合面から略等距離に位置するように構成される請求項１４に記載の取付手段。

【請求項１６】

前記開口部又は前記突起は、前記係合面間の中心点からオフセットされている請求項１５に記載の取付手段。

【請求項１７】

前記取付手段は、更に前記アブミ骨底係合部に結合するための結合部を備え、前記アブミ骨底係合部と共に枢軸結合を形成するために、前記結合部は、前記アブミ骨底係合部の前記開口部と前記突起に応じて形成された前記結合部の前記開口部又は前記突起を備える請求項１４乃至請求項１６のいずれか一項に記載の取付手段。

【請求項１８】

前記突起は前記アブミ骨底係合部に形成され、前記開口部は前記結合部に形成されている請求項１７に記載の取付手段。

【請求項１９】

前記突起は前記結合部に形成され、前記開口部は前記アブミ骨底係合部に形成されている請求項１７記載の取付手段。

【請求項２０】

前記取付手段は生体適合性材料で形成される請求項１乃至請求項１９のいずれか一項に記載の取付手段。